



# 東鍼同窓会だより

2014年10月発行  
第8号

## 同窓会の活動報告

- 本年度は、5年毎の同窓会名簿発刊年度です。名簿は、一昨年「同窓会だより」第7号に同封したアンケートの結果を踏まえ、住所等の掲載を希望されなかつた方については、名前だけの掲載としました。
- 同窓会名簿を定期的に刷新しています。
  - ① 住所変更の場合は「メール・ハガキ・封書」にて同窓会事務局までお届けください。
  - ② 会費納入時ならば「払込取扱票」で新住所を確認します。「住所変更」と必ず記載してください。
- 同窓会名簿に、住所・電話番号など掲載を希望しない場合は「非公開」の旨をご記入下さい。  
同窓会からのお知らせは「非公開の住所」にも届くように配慮をしています。

### 同窓会事業報告

平成26年1月31日(金)「卒業生が中心的に開催する研究会」開催

平成26年3月15日(土)「医黄集門」No.43および卒業生名簿の発刊、発送720名

平成26年4月29日(火)

11:00~12:30「相談役を交えての打ち合わせ」

三浦勝男、橋本慎一、塚本此清、竹内廣尚、宮入隆博、(水上信明)、  
天野寛敏、伏見富士子、風間正男 (敬称略)



13:00~14:00 同窓会総会

14:00~16:00 記念講演・シンポジウム

演者：織田聰先生、小松秀人先生、大口俊徳先生、高田常雄先生

- ・詳細は、次号の「医黄集門」NO.44に掲載予定
- ・テーマ「日本型統合医療の理念・鍼灸師と医師との連携」
- ・一般社団法人日本統合医療支援センター代表理事 織田聰先生の記念講演、続いてシンポジウム開催

### ☆大事なお知らせ「同窓会会长選挙 立候補受付」☆

- ・来年(平成27年度)4月29日の同窓会総会にて、同窓会の会長選挙を行います。  
その立候補を受け付けます。
- ・立候補される方は、平成27年1月30日(金) 正午12:00までに、同窓会事務局までご連絡ください。  
同窓会事務局の連絡先は当誌最終8ページに記載されています。
- ・必要な連絡事項は、以下の5項目です。
  - ① 氏名
  - ② 生年月日
  - ③ 卒業年度
  - ④ 卒業学科
  - ⑤ 連絡先(メールアドレスと電話番号)
- ・立候補の届け出後に、提出物等必要な書類の案内を行い、「医黄集門」で公示をさせていただきます。

# ご挨拶

第十四代同窓会長 天野 寛敏

平素は本校同窓会へのご理解・ご協力を賜り、誠に有難うございます。

同窓会長を拝命し二期4年目を迎えています。その間、卒業生の皆さま方にとって分かりやすい運営スタイルを心掛けてきました。現役員は、その良いところを踏襲し、更に改善する方向で努力を積み重ねております。今後共宜しくご教示の程、お願い申し上げます。

さる4月の記念講演では「日本型統合医療の理念・鍼灸師と医師との連携」と題して、日本型統合医療を構築しているJSCIM代表理事：織田聰先生から「統合医療と鍼灸のかかわり」をお話しいただきました。織田先生の更なるご活躍を願い、紙面をお借りして祈念いたします。

続いて「次世代の鍼灸ビジョンを語る」。鍼灸業団体：鍼灸師の未来をテーマにシンポジウム形式をとらせていただきました。日本鍼灸師会：副会長の要職を務める小松秀人先生・大口俊徳先生および高田常雄先生、お忙しい中を有難うございました。そして本校卒業生である東京都はりきゅう・あん摩マッサージ師会：黒沢淳副会長、今後の活躍に期待しエールを送ります。

さて、数年前に東京都鍼灸師会で2年続けて実施した「都民向けのアンケート」に一部、こんな感想を持った方がいました。お伝えいたします。

現代医療は「病気を見る」。ことに対して鍼灸は「病人を見る」。であります、アンケートには

「友人に鍼灸が良いよ。と聞き、時間とお金をかけて鍼灸の門を叩いたけれど、私の病気を治してくれるところは“どこ”。もう鍼灸はこりごりだ。」との回答。

これは、それぞれの鍼灸師が得意なご自分の臨床的特長とアピールポイントに“ズレ”があるようです。インターネットを検索しても“何でもかんでもヒットする”ように窓口を広げていますが、鍼灸の門を叩く方にとっては「不親切」であると受け取れます。

また、鍼灸のファンになった方が遠方に引っ越しされる場合。業団体や同窓会の名簿をコピーし「この中から選んでください。」としか対応できないことに遭遇します。

これに対し東洋鍼灸専門学校の”卒業生マップ”は良いことです。得意な疾患などが載せてあります。(なければ「全般・経絡治療」で良いのです)

まだ登録がお済みでない卒業生の先生方。是非とも本校にコンタクトください。今後とも、よろしくご支援・ご協力のほど、お願い申し上げます。

# 学校主催 同窓会特別講演

(於 平成 26 年 8 月 4 日)

## 講師の先生のご紹介

去る平成 26 年 8 月 4 日(月)、東洋鍼灸専門学校 303 教室にて、同窓会特別講演が行われました。

当ページでは講師の先生方お二人のプロフィールをご紹介します。

講演内容の抄録は、平成 27 年 3 月発刊予定の「医黄集門」No. 44 に掲載を予定しております。

### 特別講演 第 1 部

塚本此清(つかもとこれきよ)先生

テーマ「心を強く」

#### 講師プロフィール

- ・1925 年 1 月 6 日生まれ
- ・現在 89 才
- ・昭和 48 年卒業生
- ・第 11 代同窓会長



#### 主な活動内容

所属する S S 研究会では西洋と東洋の健康法をミックスしたドイツのシュルツ自律訓練法(略称 A T)の講習と普及、並びに鍼灸手技療法と併用して効果を上げる研究を続けています。

A T とは、身体に自己暗示(公式)して、筋肉を弛め、血液の循環を良くし、呼吸や心臓、すべての内臓及び頭脳まで調整し、ヨガや座禅の瞑想状態に類する状態になって、心身の不調を癒す練習法です。

1932 年にドイツのシュルツ医学博士が、自律訓練法を初出版されて以来、世界中に拡がり日本でも東大、九大、東北大、阪大を始め、多くの医学部付属の大学病院の神経科や心療内科で治療に用いられています。

### 特別講演 第 2 部

小野博子(おのひろこ)先生

テーマ「刺さない鍼」

#### 講師プロフィール

- ・昭和 56 年卒業生
- ・東洋鍼灸専門学校鍼灸科特別講師
- ・東方会事務局長



#### 主な活動内容

・東方会は昭和 45 年に小野文恵先生によって設立され、接触鍼法を整理、展開、継承してきました。

会の目的は、全員の個性を尊重し「鍼灸医」としての自覚を持つ高度の鍼灸臨床家の育成。

鍼灸の本道に基づく学術一体化された人々の健康に貢献しうる「鍼灸医学」の確立をその目的としています。

# 伏見富士子先生のご紹介

## ☆ご経歴

- ・昭和51年別科（あんまマッサージ科）1部卒業
- ・同窓会副会長
- ・現在は毎週火曜日の特別授業で鍼灸科、あマ指科を問わずに按摩の技術を学生に伝えている。

学校を卒業後、開業された伏見先生ですが、前理事長である柳谷正子先生のご縁から学生に教えることとなり、ご体調が悪くなる昨年までアマ指科の実技を受け持たれています。

「一人の学生が一人の患者さんをきちんと仕上げられるようにして、学校を卒業できるようにしたい」という正子先生の言葉を常に胸に置き、現在は火曜日の特別授業で、学生を厳しく温かく指導されています。

伏見先生が正子先生を母のように慕い、更に按摩の先生として尊敬する一方で、正子先生の女性として持っている悩み事を相談されたり、打ち明けられるような女友達のようなご関係でもありました。

時代が時代であり、そして、男性教員の中に女性が入るということで、その当時は本当に大変なご苦労をされたそうです。体調が悪い中でも患者さんの施術を続けるその源を伺うと「私はね、按摩がね、何を置いても大好きなのよ。だから続けられるの」という伏見先生。今も、正子先生のご意志と按摩の技術を学生に伝えるべく「食べていける治療家」の育成に尽力されていらっしゃいます。

## ☆ お好きな俳優 ☆

ハンフリー・ボガード  
クラーク・ゲーブル



↑ 特別授業で指導をされているご様子

## ☆著作

『 伏見式経絡按摩 』 たにぐち書店 2004年6月出版  
国立国会図書館に永久保存（請求記号 Y75-H2254）



本ができる時には、作成を手伝ってくれた関係者の皆様に先生自ら配られました。国会図書館で永久保存が決まった時、本の編集を手伝ってくれた方々に喜んで頂けたことが一番嬉しかったと話されていました。

## 伏見先生の学生時代…

### ● 東鍼校の学科

本科（鍼灸科）  
別科（あんまマッサージ科）  
柔道整復師科

### ● 国家試験

今のような形態ではなく、実技及び学科とともに、指定された他の学校へ行き、その学校の先生が試験監督となつて試験が行われていた。

## < 解説 >

柳谷素靈先生のご著書「あん摩マッサージ教程」を基礎として、伏見先生が在学中に行われていた本科、別科、柔整師科との合同授業や、休講中の病理学の時間が実技の時間になる中で、正子先生や他の先生方が中心となって按摩の技術を授業中に教えてもらえたことが、伏見式経絡按摩の基礎になっています。

この本の手技を覚えるにはまず経絡・経穴・解剖学の三つの基礎がしっかりと理解できていることが非常に重要で、病理や生理学などの医学的な知識があることは大前提として書かれています。

→ 右の写真は、この本の出版の前身となる写真（アルバム）の一部です。正子先生は、お亡くなりになる前の病床で、ずっとこのアルバムをご覧になられていたそうです。



# 伏見富士子先生 ロングインタビュー



私、写真撮られるのは好きじゃないのよね…

めったに自分のことを話すことはしなかったんだけど、、、

私は何でもハッキリ言いますからね。でもケロッとしているのよ。  
さっぱりしているの。

生徒にね、時々「巡り会いを大切にしなさい」って言うんですけど  
ね、本当に巡り会いを大切にしてね、大事ですよね本当にね。私は本当に  
幸運な巡り会いをね、たくさんさせて頂いたからね。良かったなと、  
そう思っています。

## < 国試前日の不思議な出来事 >

国家試験受験の前日に夢の中でね、上半身裸でステテコを履いたあぐらをかいている男性から、自分の背中に鍼を刺すように言  
われた。私は別科でしょ、だから「鍼は刺せません」と答えたんだけど、その頃は正しい肩背のラインがずっとわからず悩  
んでいた時だったから、ちょうど良いと思って「先生これでいいんですか」と聞いてみたのよ。すると「それでいい」という返  
事があったから翌日の試験ではその通りにやったの。夢に出てきた男性の姿とやりとりの内容を正子先生に伝えてね、素靈先生  
とはこういう方だったんですか?と聞いてみたら「そうよ。そのとおりよ」という返事を頂いてね、ビックリしたわ。素靈先生  
とはお会いしたことがないのに、夢に出てきてね。膀胱経のラインを教えに来てくれたんじゃないかなと、不思議だったわね…。

## < 最初のページの文章を書くのに半年もかかったという「伏見式経絡按摩」>

伏見先生が一番大事にしている治療の心構え…

「この『無で入る』っていうのは、最初からこうしようと思って入ってはいけないの。まず、肩背部から全身を軽擦することで、その日のその患者さんの体調が全部わかつてしまうでしょ、無で入って、そこに現れたものを処理していくということ  
が大事、手首や足首の硬さや身体の温度を感じ、患者さんの身体を触っていれば、自然にわかるようになりますよ。そして  
患者さんには事細かに身体の状態を説明することはしないで『なんか疲れているね。どうしたの?』とか『あら風邪気味ね?』  
と一言伝えてから、患者さんの状態を見極めて治療をしていく。また、患者さんが帰る時には必ず『あくる日の身体の状態  
を覚えておいてくださいね』と伝えて、次回に来られた時には施術後の様子を聞き取ることを繰り返す。とにかくたくさん  
患者さんを診て、技を磨いていけばできるようになりますよ。」

## ☆ 最近のご活動 北海道高等盲学校付属理療研修センター

平成24年度第一回東洋医学講座(5月20日)「経絡あん摩の実際」にて

「伏見式経絡あん摩」の講義をされました。10年前にもこの学校で講座をご担当されています。



### 絶対にお奨め & 好きな本

#### — 「心療内科」・「統・心療内科」

自律訓練法など、精神的なものが身体に影響することが書  
かれています。手元に置いてぜひ読み返して欲しい。

「ターヘルアナトミア」→  
昔、毎日のように夢中になって読んだ本。



患者さんから頂いた  
ターヘルアナトミア

<お話を伺って> 女性の治療家として、ご自分の志を通す時にはどんなことにも物怖じせずに筋を貫く姿勢は、本当に素晴らしいと思います。先生のご体調が万全ではない中、途中で横になられたりしながら長時間に渡り、このご紹介の中には書き切れない本当に多くのお話しを聞かせて頂きました。快くお受け下さった伏見富士子先生のお気持ちに感謝致します。いつまでも正子先生のご意志が引き継がれますように。本当にありがとうございました。(H26年卒 田上、村山)

## 末岡実先生（古典Ⅱ担当）のご紹介



### 縁は異なるもの味なもの（フェリス女学院大学名誉教授 末岡実）

およそ人生には理屈で説明のつかないことが往々にしてあり、私は天命だとか縁などだと納得してしまうのだが、今年4月からなぜか東鍼で「古典Ⅱ」の授業を行っているのも、縁から始まっている。

我が愛するゼミ卒業生の一人が昨7月に結婚。そのお相手が今は千葉の野田市で治療院を開業している東鍼の卒業生。誠実な思いやりのある若者で、何度か一緒に飲む機会があって、親の気分で納得。いま2年の昼夜クラス計120名余を教えていて、半年経つてほぼ名前と性格なども少し把握しつつあるところだが、その彼に勝るとも劣らない学生ばかり、最近思うのはそれがクラス全体の良い雰囲気を醸し出しているに違いなく、専門外ながらおそらくは実習の授業で培われてきたのだろう、と。かの彼の人柄も東鍼で育まれたのか、と今にして実感。

で、元ゼミ生の披露宴でお目にかかったのが、夫側の来賓で来られていた校長の竹内先生と竹村先生。嫁側の来賓として、妻となる我がゼミ生が「漢文学」ゼミの優秀なる卒業生であることはもとより、ゼミの先輩には鍼灸の専門学校で教員をしているのもいて、つくばの理療科教員養成施設で教員をしている私の北海道時代の教え子の元で学んだことなどの話をさせていただいた。これは彼女が妻としていかに夫への理解があるか、今後いかに内助の功を発揮するかを大宣伝したいがためであった。

これで止めておけばよかったですのですが、私自身が若い時に東洋医学に興味があり、黄帝内經などに取り組んだことまで自己自慢したのが運のツキ（着き？尽き？）。しかし内実を言うと、確かに北大の大学院（中国哲学）時代、抱朴子を読んだ後、恩師から興味があるなら黄帝内經でも読もうかと言われ、眺めだしたもののが全く歯が立たずそうそうに撤退。その後、道教の大家、福永光司先生のご講義を受ける機会があり、気の思想など興味は続いたが、助手となり同時に同じく東北大の助手をされていた石田秀実さんが『氣・流れる身体』という大著を出され、一読して圧倒されてしまい、以後は完全に道も違えた。私にとって黄帝内經は禁忌の書だったのだが、巡り巡ってまた戻ることになったのも縁（えにし）の糸が切れていたのかも知れない。

4月からの実際の授業では、基本知識として中国の古代の歴史と漢字の起源や構造、漢文訓読の理論と実践練習から進め、孔子や老子を中心とする古代の諸子百家の思想を紹介し、秦の始皇帝の時代—これまでの陰陽、五行、天文、医学などの諸思想が集約化された時代と考えているのだが一を区切りに、いよいよ素問などへと計画していたが、学生の要望があり、並行して進め出している。

そもそも東洋医療系の専門学校で、中国の古典を学ぶというのは当然と思っていたが、教員をしているかのOGから教えるのは東鍼ですか、と言われ、何故かと聞いたら他所ではやっていませんからと言われ、意外な思いに。校祖の素靈先生のご著書を読んで、「古典に還れ」という先生の教育方針であることを恥ずかしながら後で知った。授業では学生に、大いに誇るべき自慢すべき伝統です、と大言壯語しているが。。。 (2014.9.14)

# 吉岡興先生のご紹介（昭和33年4月入学生）-入学当時の思い出



## 吉岡興先生ご経歴

- ・昭和35年 東洋鍼灸専門学校柔整卒
- ・昭和36年 東洋鍼灸専門学校本科卒
- ・昭和47年 鷹巣町議会議員
- ・昭和48年 (社)秋田県柔道整復師会副会長
- ・昭和55年 (社)秋田県柔道整復師会会长
- ・平成18年 北秋田市第2代目議長
- ・平成22年 38年間の議員生活を終える
- ・平成25年 春の叙勲で「旭日小綬章」受賞する

## 吉岡興先生 特別講演のお知らせ

H26年10月24日(金) 15:30-17:00 於 東洋鍼灸専門学校

☆卒業生聴講可能☆

参加希望者は [info@toyoshinkyu.ac.jp](mailto:info@toyoshinkyu.ac.jp) にご連絡ください。

東鍼校に「寮」があったことを知っている同窓生は少ないと思います。

なぜなら、寮があった期間は1年半だけで、入寮生も少なかったからです。

西武新宿線花小金井駅前に拓殖大学の付属高校（正明高校）があり、高校の別棟に東鍼校がありました。

学校と高校の間に寮がありました。寮といっても教室にベッドを並べただけで、まさに寝泊まりだけの部屋でした。

寮は武道室（柔道場）と棟続きになっていて、授業が終われば柔道の練習や、高校のグラウンドで高校生と一緒に野球をやったりと、若いエネルギーを発散させるには程よい運動設備（というには貧弱ですが）があったので、それがまた寮生活を楽しくさせてくれました。あとで聞いた話によると入寮生が少ないので閉寮される予定だったそうですが、私たち高校新卒の1年生8名が押しかけたので閉鎖されずに続けられたそうです。

しかし、その寮は1学期だけで閉鎖されました。でも、その短い寮生活が後々の人生に大きく役立ったと思っています。（寮生の集いは不定期ながら現在も続いている）

当時の生徒は殆どが鍼灸院などに勤めながらの通学でしたので、放課後学校へ残っている生徒はおらず学校はカラッポになるので、私たち寮生の恰好の溜まり場になりました。空いている教室で鍼や灸の練習をするとか、経穴の取り方（取穴法）を話し合うとか、教室や武道室を有効に使ったものでした。だから寮生は成績も上位を占め「今度はオレが1番をとる！」と互いに競い合ったものでした。

そういう私たち若者の行動を目を細めて見ていたのが柳谷素靈校長先生でした。

柳谷先生は「これから鍼灸師は社会的にも活躍して社会に大きな貢献をしなければならない」というのが口癖で、「治療家はまず患者さんから信頼されねばならない。そのためには死ぬまで勉学に努めなければならない。」と叱咤するものでした。

また先生は非常に忙しい方で学校へは1週間に1、2度しか出て来ませんでしたが、出校日は極力生徒とのコミュニケーションを大切にしていたと思います。ですから放課後教室に残って議論している寮生が頗もしく見えたのではないかと思います。その分目をかけて貰えたのは幸せだったと思います。

そして私たちが入学してからまだ1年たたない翌年2月、先生は帰幽されました。朝日、毎日、読売の三大紙の三面に訃報記事が掲載されたのを見て、「さすが我が恩師は斯界の重鎮なんだなあ」と不思議な感懷を覚えたものでした。半世紀も前のことですけど…。

# 東洋鍼灸専門学校 事務室からのお知らせ

## 平成 27 年 4 月入学生募集

## 今後の入試日程

試験区分	受験学科(いずれも昼・夜)	願書受付期間(※)	選考日
推薦入試（第1回）	鍼灸科 鍼灸あん摩マッサージ指圧科	10/01(水)～10/08(水)	10/12(日)
一般入試（A日程）	鍼灸科 鍼灸あん摩マッサージ指圧科	11/04(火)～11/11(火)	11/16(日)
一般入試（B日程）	鍼灸科 鍼灸あん摩マッサージ指圧科	12/01(月)～12/09(火)	12/14(日)
推薦入試（第2回）	鍼灸科	01/14(水)～01/21(水)	01/25(日)
推薦入試（第3回）		02/02(月)～02/12(木)	02/15(日)
特別入試		02/25(水)～03/04(水)	03/08(日)

(※)上記以外に、平日夜間推薦入試も実施しています

□お問い合わせ窓口：入試事務局 e-mail: info@toyoshinkyu.ac.jp TelNo: 03-3209-5436

## オフィシャルサイト「卒業生開業治療院 MAP」無料掲載のご案内

卒業生の皆様には平素より多大なるご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

本校では、2012年よりオフィシャルサイトにて「卒業生開業治療院 MAP」を公開しています。

卒業生の開業治療院を掲載することで、全国の治療院をお探しの方や、

「はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧」にご興味をお持ちの方々への良質な保健提供に寄与する所存です。

今後さらに充実したコンテンツとすべく、より多くの治療院掲載を目指しております。

開業された先生方からのご連絡をお待ちしています。

□東洋鍼灸専門学校 オフィシャルサイト <http://www.toyoshinkyu.ac.jp>

お問い合わせ窓口 sotsugyo@toyoshinkyu.ac.jp 03-3209-5436

## 第五十一回 東鍼祭 十一月二日(日)開催

東洋鍼灸専門学校 同窓会だより 第8号

発行日：平成 26 年 10 月 1 日

事務局：東洋鍼灸専門学校内

発行者：東洋鍼灸専門学校同窓会

〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-4-4

会長 天野寛敏

TEL : 03-3209-5436 FAX : 03-3209-5569

編 集：「同窓会だより」編集委員

E-Mail: doso@toyoshinkyu.ac.jp